
■文部科学省 原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ、第4回原子力安全規制・福島復興シンポジウム
「東日本大震災と福島原発事故から4年～原子力安全規制の今後のあり方と福島復興を考える～」
のご案内

早稲田大学は、文部科学省原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ「原子力産業への社会的規制とリスクガバナンスに関する研究」プロジェクト主催「第4回原子力安全規制・福島復興シンポジウム：東日本大震災と福島原発事故から4年～原子力安全規制の今後のあり方と福島復興を考える～」を、2015年3月11日（水）午後、早稲田大学早稲田キャンパス（19号館）にて開催いたします。皆様のご来場をお待ちしております。

【本シンポジウムの目的】

東日本大震災・福島原発事故から2015年3月11日で4年を迎えます。早稲田大学は、2011年5月に東日本大震災復興研究拠点を設立し、早稲田大学の知的共同体として叡智を結集し、被災地復興に貢献すべく研究を行ってまいりました。本シンポジウムでは、福島原発事故の反省と教訓を踏まえて発足した原子力規制委員会（NRA）の社会的評価と今後の原子力安全規制のあり方を明らかにします。また、大震災・原発事故からの復興に取り組む福島の状況と課題について、福島県からの参加者とシンポジウム参加者を交え、議論したいと考えています。

【開催概要】

-
- ・日時：2015年3月11日（水） 13：00～17：30 （受付開始：12:30）
 - ・場所：早稲田大学早稲田キャンパス 19号館（早稲田大学西早稲田ビル）7階・710教室
<http://web.waseda.jp/gsaps/access/>
 - ・定員：50名（先着順・無料）
 - ・申込・問い合わせ先：メールにてお申込み、お問い合わせ下さい。

【宛先】 jyuten-fukkou@list.waseda.jp（※を@（半角）にして送信ください）

【件名】 シンポジウム申込

【内容】 1. 氏名（フリガナ） 2. ご所属 3. メールアドレス

- ・主催：早稲田大学・文部科学省原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ「原子力産業への社会的規制とリスクガバナンスに関する研究」プロジェクト
<http://www.waseda.jp/prj-matsuoka311/index.html>
 - ・協力：早稲田大学アジア太平洋研究科（予）・東京工業大学大学院社会理工学研究科（予）・早稲田大学日米研究機構・早稲田大学レジリエンス研究所・アジア協働大学院（AUI）推進機構、パリ政治学院 IDDRI 研究所（予）
-

■プログラム ※プログラムは都合により変更になる可能性があります。

MC：岩田優子（早稲田大学アジア太平洋研究科）

【開会挨拶 13:00-13:10】

石山敦士（早稲田大学理事・理工学術院教授）

【基調報告 13:10-13:30】

松岡俊二（早稲田大学アジア太平洋研究科・教授・研究代表者）

「福島原発災害の教訓は原発再稼動に活かされているのか？ 2011.3.11から4年経って分かってきたこと」

【第1部 13:30-14:50】日本の原子力安全規制をめぐって～原子力規制委員会を中心とした評価と課題～

モデレーター：勝田正文（早稲田大学環境エネルギー研究科長・教授）

コメンテーター：平川秀幸（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター・教授）、他

報告 「原子力規制委員会の技術的評価」

師岡慎一（早稲田大学先進理工学研究科・教授）

報告 「原子力規制委員会の法制度面からの評価」

黒川哲志（早稲田大学社会科学学術院・教授）

報告 「原子力規制委員会の社会的評価」

松岡俊二（早稲田大学アジア太平洋研究科・教授・研究代表者）

特別報告 「フランスのオフサイト・マネジメントと地域情報委員会」

Lucien Chabason（パリ政治学院 IDDRI・Senior Advisor）

【第2部 15:10-16:30】福島復興をめぐって～原子力ガバナンスと市民社会～

モデレーター：黒川哲志（早稲田大学社会科学学術院・教授）

コメンテーター：大手信人（京都大学情報学研究科・教授）

コメンテーター：鬼頭秀一（星槎大学教育学研究科・教授）

報告 「阪神・淡路大震災 20 年から福島復興を考える：レジリエンスとソーシャル・キャピタル」

島田剛（JICA 研究所・主任研究員）・松岡俊二（早稲田大学アジア太平洋研究科・教授・研究代表者）

報告 「福島における放射能汚染と帰還政策のあり方」

森口祐一（東京大学工学系研究科・教授）

報告 「低線量被爆と福島の人々：支援としての選択肢の多様化と避難する権利」

菅波香織（いわき未来会議代表・弁護士）

報告 「被災地における市民主体のコミュニティ再建：新しい絆を生かして」

島村守彦（いわきおてんと SUN 事業組合・事務局長）

【第3部 16:30-17:20】パネルディスカッション

「残された課題と今後の展望～国際社会でフクシマの教訓を生かすために～」

モデレーター：蟹江憲史（東京工業大学社会理工学研究科・准教授）

パネリスト：松岡俊二、師岡慎一、勝田正文、黒川哲志、森口祐一、菅波香織、鬼頭秀一、大手信人、岩田修一、島田剛、島村守彦、他

【閉会挨拶 17:20-17:30】

松岡俊二（早稲田大学アジア太平洋研究科・教授・研究代表者）